

1. CITI Japan eラーニングプログラム トップ画面

CITI Japan Home Page x

edu.citiprogram.jp/defaultjapan.asp?language=japanese

CITI Japan Collaborative Institutional Training Initiative
CITI JAPAN PROGRAM

ホーム CITI Japanについて サンプル閲覧 IRB向け資料 実験動物コース Q & A

ようこそ、CITI JapanのWebサイトへ

CITI Japanプログラムはeラーニングによる研究者行動規範教育を提供している登録制のサービスです。受講するためには、機関登録および受講者登録が必要となります。

大学院・大学および大学附属研究機関に所属する方

大学院生、学部学生、教員・研究者および事務職員の方は、所属する機関が「CITI Japan プロジェクト」を通じて機関登録をすることにより、平成24 - 28年度は無料で受講することができます。

※「研究者育成のための行動規範教育の標準化と教育システムの全国展開(略称：CITI Japan プロジェクト)」(代表校：信州大学)は、文部科学省「大学間連携共同教育推進事業」の採択事業です。

お問い合わせ・お申し込みはこちらへ
[CITI Japan プロジェクト](#)

左記に該当しない方

特定の機関に所属していない個人の方、および企業や病院、学会などに所属している方は、「CITI Japan プロジェクト」による無料受講の対象外であるため、当ホームページを通して有料受講の申し込みをお願いします。

お問い合わせ・お申し込みはこちらへ
[NPO法人日米医学教育コンソーシアム](#)

※教材に関するご意見はCITI Japan プロジェクトのサイトへ
[教材への意見募集](#)

登録済みのユーザ 下記からログイン
(Already Registered? Login Below)

ユーザ名 (Username)

パスワード (Password)

ログイン (Log In)

[ユーザ名、パスワードを忘れた方](#)
(Forgot Username or Password?)

【お知らせ】(2015.5.17 更新)

【対応ブラウザについて】
本サービスは、Internet Explorer、Safari、Chromeなどの標準的なブラウザでご利用いただけます。(最新のバージョンでご利用ください。)

著作権、免責事項 | [CITI-Japanについて](#) | [お問合せ](#)

① CITI Japanのトップ画面 (<http://edu.citiprogram.jp/defaultjapan.asp?language=japanese>) にアクセスしてください。

② 「ユーザ名」「パスワード」を入力し、ログインをクリックしてください。

※「ユーザ名」及び「パスワード」は、事務局にて登録します。

2. ログイン後のトップ画面

CITI Main Menu x

edu.citiprogram.jp/members/mainmenu_japan.asp?strKeyID=5667DD88-254F-42ED-96DC-70C5D2E763E9-6619579

Tsuyoshi Tanokura (Member ID: 2056223) ← ①

CITI Japan onスクリーン eラーニング講座

メインメニュー(Main Menu) | ログアウト(Log Out)

メインメニュー

- あなたのe-mailアドレスは tanokura.tsuyoshi@nihon-u.ac.jp です。氏名とメールアドレスの修正は [こちら](#) (Change my name and email address)
- パスワードの変更は [こちら](#) (Change my password)

日本大学

受講コースの選択 (Course Selection) ← ③「3. 受講コース選択画面」へ

過去に修了したコース (Previously Completed Coursework)
過去に受講したコースの履歴の閲覧や修了証の再発行を行うことができます。(View my previously completed modules list and Completion Reports)

著作権、免責事項 | CITI-Japanについて | お問い合わせ

上記画面はログイン後のトップ画面です。

- ① 画面左上に受講者氏名(ローマ字)とIDが表示されます。
- ② 初期設定のメールアドレス及びパスワードは変更可能です。
- ③ 「受講コースの選択」をクリックし、受講するコースを選んでください。

3. 受講コース選択画面

受講するコースを1つだけ ×

edu.citiprogram.jp/members/selectgroups.asp?strKeyID=306F912B-3851-43A1-98D2-DE91E1597931-6619579&eq=5773&action=begin

Tsuyoshi Tanokura (Member ID: 2056223)

CITI Japan onスクリーン eラーニング講座

メインメニュー(Main Menu) | ログアウト(Log Out)

受講するコースを1つだけ選んでください。(Choose only one that apply.) – Nihon University

☒ 責任ある研究行為コース(初回用)(2015)

☐ 責任ある研究行為コース(継続用)(2015)

☐ 人を対象とする医学系研究倫理コース(2015)

Continue Cancel ← 「4. 受講単元選択画面」へ

ホーム | 著作権、免責事項 | CITI-Japanについて | お問い合わせ

- ① 本部及び学部にて受講コースの追加登録を行った場合、選択画面にコース名称が追加記載されます。
各受講者は、研究分野・研究対象、申請する公的資金等により、受講するコースを画面上で選択してください。

4. 受講単元選択画面

CITI Main Menu x

edu.citiprogram.jp/members/mainmenu_japan.asp?strKeyID=8030D664-216F-4B6A-BACB-B57EBBA1C6F0-6619579

Tsuyoshi Tanokura (Member ID: 2056223)

CITI Japan オンスクリーン eラーニング講座 

[メインメニュー\(Main Menu\)](#) | [ログアウト\(Log Out\)](#)

メインメニュー

- あなたの e-mail アドレスは tanokura.tsuyoshi@nihon-u.ac.jp です。氏名とメールアドレスの修正は [こちら](#) (Change my name and email address)
- パスワードの変更は [こちら](#) (Change my password)

日本大学

受講コース (Course)	受講履歴 (Status)	修了レポート (Completion Report)
01_責任ある研究行為:基盤編, Stage 1	必須(Required):受講前 - 受講(Start)	未取得(Not Earned)
02_人を対象とした研究:基盤編, Stage 1	受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)	未取得(Not Earned)
03_責任ある研究行為(理工系), Stage 1	受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)	未取得(Not Earned)
04_研究の安全性, Stage 1	受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)	未取得(Not Earned)
05_実験動物の取り扱い, Stage 1	受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)	未取得(Not Earned)
06_米国臨床試験実施基準(GCP)に関する教材, Stage 1	受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)	未取得(Not Earned)
07_米国被験者保護局(OHRP)教材, Stage 1	受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)	未取得(Not Earned)
08_国内IRBの米国OHRPへの登録手続き案内, Stage 1	受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)	未取得(Not Earned)
09_責任ある研究行為:基盤編(復習用), Stage 1	受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)	未取得(Not Earned)

受講コースの選択 (Course Selection)

過去に修了したコース (Previously Completed Coursework)
過去に受講したコースの履歴の閲覧や修了証の再発行を行うことができます。(View my previously completed modules list and Completion Reports)

[著作権、免責事項](#) | [CITI-Japanについて](#) | [お問合せ](#)

5. 受講準備画面へ

受講コースを選択すると、コースごとの必須単元、オプション単元が表示されるとともに、履修状況が表示されます。
※表示される単元は、選択した受講コースごとに変わります。

「受講可」となっている単元は、
オプション単元になります。

5. 受講準備画面

受講履歴表

edu.citiprogram.jp/members/learnersII/gradebook.asp?strKeyID=E26614D5-0154-4C8F-B8E9-C228B9211E70-6619579

Tsuyoshi Tanokura (Member ID: 2056223)

CITI Japan onスクリーン eラーニング講座

メインメニュー(Main Menu) | ログアウト(Log Out)

責任ある研究行為: 基盤編 受講履歴表

本コースを修了するためには、必須受講科目のクイズの平均80点を取得する必要があります。
To pass this course you must achieve an average score of at least 80% on all quizzes associated with this course's module requirements.

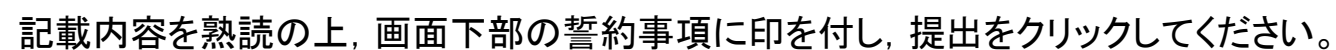
あなたの現在のスコアは0点です。(※オプション科目のみのコースの場合、このスコア表記は常に「0点」となります。)
Your Current Score is 0%. (* If the course is Optional, this current score always states 0%)

必須受講科目(Required modules)	状態、修了日(Status, Date)	スコア(Score)
受講に進む前に「 受講に先立つ誓約(Assurance Statement) 」を完了してください。 ← 「6. 受講に先立つ誓約」画面へ		
責任ある研究行為について / Responsible Conduct of Research	未完了 (Incomplete)	
研究における不正行為 / Research Misconduct	未完了 (Incomplete)	
データの扱い / Data Handling	未完了 (Incomplete)	
共同研究のルール / Rules for Collaborative Research	未完了 (Incomplete)	
利益相反	未完了 (Incomplete)	
オーサiership / Authorship	未完了 (Incomplete)	
盗用 / Plagiarism	未完了 (Incomplete)	
社会への情報発信 (2014)	未完了 (Incomplete)	
ピア・レビュー	未完了 (Incomplete)	
メンタリング	未完了 (Incomplete)	
公的研究費の取り扱い / Managing Public Research Funds	未完了 (Incomplete)	

オプション科目(Optional modules)	状態、修了日(Status, Date)	スコア(Score)
(以下の科目受講は、修了証取得に必須ではありません。より深い理解に役に立ててください。)		
責任ある研究行為ダイジェスト / < Digest Version > Responsible Conduct of Research	未完了 (Incomplete)	

著作権、免責事項 | CITI-Japanについて | お問い合わせ

- ① コース選択を終えると、受講にあたり準備画面になります。
「受講に先立つ誓約」をクリックしてください。
※受講に先立つ誓約を完了するまでは、必須受講科目を受講できません。



7. 受講科目選択画面

受講履歴表

edu.citiprogram.jp/members/learnersII/gradebook.asp?strKeyID=A8756C57-6495-4C4D-98B4-63A148B71696-6619579&gradebook=

Tsuyoshi Tanokura (Member ID: 2056223)

CITI Japan onスクリーン eラーニング講座

メインメニュー(Main Menu) | ログアウト(Log Out)

責任ある研究行為: 基盤編 受講履歴表

本コースを修了するためには、必須受講科目のクイズの平均80点を取得する必要があります。
To pass this course you must achieve an average score of at least 80% on all quizzes associated with this course's module requirements.

あなたの現在のスコアは0点です。(※オプション科目のみのコースの場合、このスコア表記は常に「0点」となります。)
Your Current Score is 0%. (* If the course is Optional, this current score always states 0%)

次の必須科目を選択。責任ある研究行為について/Responsible Conduct of Research.

必須受講科目(Required modules)	状態、修了日(Status, Date)	スコア(Score)
▶ 責任ある研究行為について/Responsible Conduct of Research	未完了(Incomplete)	
研究における不正行為/Research Misconduct	未完了(Incomplete)	
データの扱い/Data Handling	未完了(Incomplete)	
共同研究のルール/Rules for Collaborative Research	未完了(Incomplete)	
利益相反	未完了(Incomplete)	
オーサiership/Authorship	未完了(Incomplete)	
盗用/Plagiarism	未完了(Incomplete)	
社会への情報発信(2014)	未完了(Incomplete)	
ピア・レビュー	未完了(Incomplete)	
メンタリング	未完了(Incomplete)	
公的研究費の取り扱い/Managing Public Research Funds	未完了(Incomplete)	

← 「8. テキスト画面」へ

オプション科目(Optional modules)	状態、修了日(Status, Date)	スコア(Score)
(以下の科目受講は、修了証取得に必須ではありません。より深い理解に役に立ててください。)		
責任ある研究行為ダイジェスト/< Digest Version > Responsible Conduct of Research	未完了(Incomplete)	

著作権、免責事項 | CITI-Japanについて | お問い合わせ

受講する科目(必須受講科目又はオプション科目)を選択します。

※コースを修了する(修了証を発行する)ためには、必須受講科目を履修し、最終的なクイズで基準点以上のスコアを取る必要があります。

8. テキスト画面

テキスト画面に遷移したら、受講する言語(日本語・英語)を選択し、画面を見ながら受講を開始してください。
なお、日本語版・英語版は別ページではなく、1つの画面上で「上半分」が日本語、「下半分」が英語といった作りになっています。

9. テキスト画面(2)

研究における不正行為

「研究における不正行為」とは

P 2/13

「研究における不正行為」の定義

米国の**連邦研究ミスコンダクト規則**は「研究における不正行為」を次の3つの形で定義し、概説しています(1)。この定義は、日本の「研究活動の不正行為への対応のガイドライン」について - 研究活動の不正行為に関する特別委員会報告書- (文部科学省 科学技術・学術審議会 研究活動の不正行為に関する特別委員会) (以下、「ガイドライン」と言います。) においても「研究活動の不正行為等」の定義とされています(2)。

- ▶ **捏造**とは、存在しないデータ、研究成果を作成すること。
- ▶ **改ざん**とは、研究資料、機器・過程を変更する操作を行い、データ、研究活動によって得られた結果等を真正でないものに加工すること。
- ▶ **盗用**とは、他の研究者等のアイディア、分析・解析方法、データ、研究結果、論文又は用語を、当該研究者の了解もしくは適切な表示なく流用すること。

注: ガイドラインの対象とする不正行為は、発表された研究成果の中に示されたデータや調査結果等の捏造、改ざん、及び盗用です。ただし、故意によるものではないことが根拠をもって明らかにされたものは不正行為には当たりません。

「研究における不正行為」は、単純な間違いや考え方の違い(例: データの読み取り方の違い)に基づくものは含まれません。また、「ガイドライン」では、「研究」は、「科学・工学・数学のあらゆる分野の基礎・応用・実証研究まで包含し、それには経済・教育・語学・医学・心理学・社会学・統計学・人および動物を対象とした研究を含む」と定義されています。**研究成果**とは、科学的探究によって得られた事実が具体的に記述されたデータや結果の記録を指し、**研究提案書、実験記録書、ブログレスレポート、抄録、学位論文、口頭発表、内部報告書、学術誌発表**などの内容をなすものです。デジタル化したものも含まれます。

研究における不正行為

P 3/13

「研究における不正行為」について(日本の取り組み)

米国と同じく北欧諸国および中国でも政府が対応する制度を設けています。日本ではヨーロッパ諸国と同様、専門学会、大学および研究機関に個々の対応が託されてきました。2004年に日本学術会議を通じて行われた調査によると、日本の科学領域の学会のうち倫理綱領を有するものはわずかに1割を超える程度でした(3)。その後、総合科学技術会議が決定した「研究上の不正に関する適切な対応について」(2006年2月)を受けて、2006年8月、文部科学省は同省所管の独立行政法人及び文部科学省の競争的資金を活用した研究を対象として、「ガイドライン」を発表しました(2,4)。これをうけて、13日同じ時期に、厚生労働省等も類似内容の通知等をしてい

上記は、テキストの具体的な画面(抜粋)になります。
 なお、各単元の受講時間(目安)は、20~30分程度になります。

オーサーシップ

P 7/13

政治的なオーサーシップ

これは、前記の2つのオーサーシップとも関係がありますが、その背景にある考えは次のようなものです。もし共著者として入れておかないと、その重要人物を怒らせてしまったり、気分を害させてしまったり、落胆してしまうのではないかと。そのような懸念から、研究への実質的な貢献が全くないにもかかわらず、その人物を著者に含めてしまうものです。また、論文がアクセプトされやすいように、その分野の権威者を著者として載せておく、というのも政治的オーサーシップであり、載せられた本人がそれを知らない、という場合も多々あります。

オーサーシップ

ゴースト・オーサーシップ

この種の欺瞞的行為は特に問題があります。というのも、ゴースト・オーサーシップでは、研究プロジェクトに全く関与していなかったり、わずかな貢献しかしていない人の名前が著者として掲載される一方で、実際に論文を書いた人の名前が共著者として入れられないからです。この手の欺瞞的行為がよく見られるのは、官利企業や組織が著名な研究者の名前を借りて、ある論文に信頼性を与えようとする場合です。製薬企業が医師の名前を借りて論文を発表するケースなどが典型です。場合によってはそれらの著名な研究者は、論文にほとんど関与していないにもかかわらず、名義貸しの対価として金銭的な報酬や謝礼を受け取ります。

以上で紹介してきたようなオーサーシップに関する誤った行動は、科学者コミュニティへの信頼を失わせることになります。昨今、こうした好ましくないやり方がますます顕著になってきたため、学術誌によっては著者全員に対して「研究の内容に対し、実質的な貢献を行っており、著者資格を満たしている」という宣誓書に署名すること(場合によってはその具体的な貢献の内容を記載した上で)を求めるようになりました。

最近、日本のある麻酔科医が発表した論文のうち、少なくとも172本の論文にデータのねつ造が発覚するという大規模な研究不正問題が話題になりました。日本麻酔科学会の調査によれば、その麻酔科医はそれらの論文による業績を、学内での業績評価や大学教員ポストの応募、教授選考、公的研究費獲得、学会賞への応募などに利用していたことが明らかになっています。

またこの事例では、発表された論文に多くの共著者がいることも問題になりました。元の指導教員や所属機関の元上司、共同研究者などが共著者として名前を連ねていました。共著者たちはねつ造には関与していなかったものの、元指導教員という立場で共著者として名前を連ねていたり(権威に基づくオーサーシップ)、業績を増やすためにお互いに論文に名前を入れ合う(ギフト・オーサーシップ)約束を結んでいた研究者の存在が明らかになりました。共著者によっては、そもそも自分の名前が掲

オーサーシップ

10. テキスト画面(3)

責任ある研究行為ダイジェスト

9. おわりに

P 71/71

人類の知的営みを支える研究活動は、責任ある研究行為、つまり研究者倫理への深い理解と実践に支えられています。様々な人々の協力に支えられ、種々の研究資源を投じながら日々の研究を行うすべての研究者が、質の高い研究を行っていくことを願ってやみません。

[この教材についてご意見をお寄せください](#)

責任ある研究行為ダイジェスト

参考文献

本単元は、CITI Japan プロジェクトが作成した“責任ある研究行為:基盤編”をもとに、専門家の査読を受けて作成されています。作成および査読等に参加した専門家の方々の氏名は、[こちら](#)に掲載されています。

クイズを行うにはこちらをクリックしてください。

English Version

Drafted date: March 31, 2015
Last update: March 31, 2015

← 各単元のテキスト末尾にクイズ画面に進むボタンがあります。

テキストを最後まで受講しましたら、上記「クイズを行うには…」をクリックしてください。

11. テキスト画面(4)

much time to devote to research. Despite this, he or she may try to win funding by claiming on the application that 100% of working hours will be devoted to the research project in question. This is clearly inappropriate.

< Digest Version > Responsible Conduct of Research

IX. Conclusion

P 71/71

Research activities are the driving force of human intellectual endeavors, which require responsible conduct of research, in other words, a good understanding of researchers' ethics and professional practices based on said understanding. We hope that all researchers who carry out their projects recognize that they are responsible for conducting quality research, as they are continuously receiving support and cooperation from a network of people and resources in a variety of forms.

[We appreciate your comments on this material.](#)

< Digest Version > Responsible Conduct of Research

References

This digest version, based on the "Responsible Conduct of Research: Fundamentals" of the CITI Japan Project, has been prepared in cooperation with many supporting experts and reviewers. Please click [here](#) for the names of those who have contributed to the preparation of this module.

クイズを行う / Take the quiz for this module

クイズを行う / Take the quiz: [責任ある研究行為ダイジェスト / < Digest Version > Responsible Conduct of Research](#) ← 「12. クイズ画面」へ
 本コースの成績管理書へ / Return to the module list for this course
 メインメニューへ / Go to the Main Menu

著作権、免責事項 | CITI-Japanについて | お問い合わせ

「クイズを行う」をクリックしてください。

12. クイズ画面

責任ある研究行為ダイジェスト x

edu.citiprogram.jp/members/learnersII/exam.asp?strKeyID=D9B1243C-3AF1-4297-8CFD-6F0B80848803-6475037

hanako nichidai (Member ID: 1971513)

CITI Japan onスクリーン eラーニング講座

メインメニュー(Main Menu) | ログアウト(Log Out)

責任ある研究行為ダイジェスト / < Digest Version > Responsible Conduct of Research クイズ / Quiz

注意: すべての質問に解答してください。各質問は1ポイントです。採点を行う際は送信ボタンをクリックしてください。送信後、正解および解説が表示されます。また次の受講科目へのリンクが表示されます。

Question 1 複数選択肢/複数解答 - 正しい解答をすべて選択
共同研究と見なされるのはどれでしょう。すべて選んでください。
Which of the following can be considered as collaborative research? Choose all applicable answers.

回答方法は、正しいもの(正しくないもの)を選択するものと、該当するものを複数選択するものがあります。

- ☐ 考古学者が放射線科学者と文化人類学者の協力を得て、メキシコで発掘された人体遺物中の炭素年齢を調べる
An archaeologist working with a radiation scientist and a cultural anthropologist to determine the age of charcoal samples from an ancient human remain in Mexico
- ☐ 分子生物学者、エンジニア、コンピュータ技術開発者、弁護士、証券アナリストが共同して病気の治療を目的として、人の遺伝子情報を解読する機械、方法、ソフトを開発する
Molecular biologists, engineers, computer scientists, lawyers and investment analysts working together to develop machines, methodology and software to sequence human genetic codes for treating diseases
- ☐ 複数の社会学者がコンピュータ技術の進歩がどのように人間社会の交流、人間関係、物流に変化を与えたかを研究する
Several sociologists working together to better understand how advances in computing technology affect human interactions, relationships and commerce
- ☐ 医師とコンピュータ技術開発者が、遠隔地においてインターネットを通じてバーチャルに患者の身体所見をとれるシステムを開発する
Physicians and computer scientists working together to develop computerized systems to allow patients in rural areas to connect, via the Internet, for virtual physical examinations

Question 2 複数選択肢/単数解答 - 1つの解答のみ選択
以下の項目のうち、オーサiershipに関する基本ルールとして知られる国際医学雑誌編集者国際委員会(ICMJE)のガイドラインに照らして、論文著者の基準と合致しないものはどれでしょう。1つ選んでください。
Which of the following is NOT a criterion for authorship according to the International Committee of Medical Journal Editors (ICMJE) guidelines which are known to be basic rules regarding authorship? Choose only one answer.

- ☐ その論文の内容に必要な実験の構想および計画の立案
Conception and design of the experiment necessary for the content of the article
- ☐ 論文の執筆を行うか、その論文の内容に関わる必要不可欠な校正・改訂作業(リバイズ)を行っていること
Drafting the article or revising it critically for important intellectual content
- ☐ その研究に必要な予算の獲得
Acquisition of funding necessary for the research to be conducted
- ☐ 投稿に際して最終原稿の承認
Giving final approval of the version to be published

Question 3 複数選択肢/単数解答 - 1つの解答のみ選択
以下の状況のうち、盗用(Plagiarism)に当たる行為となる可能性が最も高いものはどれでしょう。1つ選んでください。
Which one of the following situations is most likely to constitute an act of plagiarism? Choose only one answer.

- ☐ 他の著者の文章を言い換えて、その言い換えた文章の最後に出典を付け加えること
Paraphrasing another author's text and adding a citation at the end of the paraphrase
- ☐ 論文中に虚偽データを含むこと
Including fake data in a paper
- ☐ 引用符を使わずに他の著者の文章を一言一句違えずに複写し、著作の最後に出典を付すこと
Copying someone else's text word-for-word without using quotation marks and adding a citation at the end of the material
- ☐ 他の著者のアイデアを要約し、その要約の最後に出典を付け加えること
Summarizing someone else's ideas and adding a citation at the end of the summary

Question 4 複数選択肢/単数解答 - 1つの解答のみ選択

研究活動における「捏造」に当たるものはどれでしょう。1つ選んでください。

Which of the following involves "fabrication" in research activities? Choose only one answer.

- ☐ データをでっち上げて発表すること
Making up data and reporting them
- ☐ 研究材料、器具、方法に不正に手を加えたり、データの書き換えや削除を行うこと
Improperly manipulating research materials, equipment or processes or changing or omitting data
- ☐ 他人のアイデア、データ、あるいは論文をその人の業績とせざるに横取りすること
The appropriation of another person's ideas, data or manuscripts without giving appropriate credit
- ☐ 研究費を不正使用すること
Misappropriating research funds

Question 5 複数選択肢/単数解答 - 1つの解答のみ選択

医学部のA教授は月・火・木・金曜日の午前9時から午後2時までは昼食の1時間を除き大学病院での診療業務、午後2時から3時までは学部運営等に関する会議出席、そして3時から帰宅する8時までには、共同研究者とのディスカッションや論文作成に従事しています。水曜日は昼食の1時間を除き、午前9時から午後8時の帰宅まで、共同研究者の研究室でデータ集めを行っています。教授は仕事を家に持ち帰らない主義を持っています。教授には、動物モデルを使った2つの研究テーマがあり、ほぼ同等に時間を配分しています。1つは研究分担者として、もう1つは研究代表者として科研費を受けています。このたび、後者を継続しようと申請書を準備しています。この場合、申請書に記入すべきエフォートは次のどれでしょう。1つ選んでください。

Professor A of the University's Department of Pharmacy sees patients at the University Hospital on Mondays, Tuesdays, Thursdays and Fridays from 9 a.m. to 2 p.m., including one hour off for lunch. She then attends a faculty management meeting from 2 p.m. to 3 p.m., and works with coresearchers from 3 p.m. to 8 p.m.—discussing their research projects, writing research papers, etc.—before going home. On Wednesdays, she collects data at her coresearcher's laboratory from 9 a.m. to 8 p.m., including one hour off for lunch, and then goes home. The professor has a personal policy of not doing any work at home. She has been working concurrently on two research topics using animal models, and has been dividing her working hours almost equally between these two projects. Both projects are funded by Grants-in-Aid for Scientific Research: In one she works as a coresearcher and in the other she is the principle investigator. Professor A has been working on preparing a grant application to extend the latter project. Which of the following figures corresponds to the "effort" that she should declare on the grant application? Choose only one answer.

- ☐ 10%
10 %
- ☐ 40%
40 %
- ☐ 20%
20 %
- ☐ 30%
30 %
- ☐ 50%
50 %



送信(Submit)

[著作権、免責事項](#) | [CITI-Japanについて](#) | [お問合せ](#)

クイズは全部で5問、選択肢方式となっています。
全ての設問の選択肢を回答したら、「送信」をクリックして、答え合わせをしてください。
なお、クイズに不正解で、基準点に達しない場合でも、再度、クイズを行うことができます。

13. 受講修了後

日本大学

受講コース
(Course)

01_責任ある研究行為:基盤編, Stage 1
 02_人を対象とした研究:基盤編, Stage 1
 03_責任ある研究行為(理工系), Stage 1
 04_研究の安全性, Stage 1
 05_実験動物の取り扱い, Stage 1
 06_米国臨床試験実施基準(GCP)に関する教材, Stage 1
 07_米国被験者保護局(OHRP)教材, Stage 1
 08_国内IRBの米国OHRPへの登録手続き案内, Stage 1
 09_責任ある研究行為:基盤編(復習用), Stage 1

受講履歴
(Status)

修了(Passed) - 05/08/15
 受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)
 受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)
 受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)
 受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)
 受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)
 受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)
 受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)
 受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)
 受講可(Optional/Incomplete) - 受講(Start)

修了レポート
(Completion Report)

修了証(印刷/Print)
 未取得(Not Earned)
 未取得(Not Earned)
 未取得(Not Earned)
 未取得(Not Earned)
 未取得(Not Earned)
 未取得(Not Earned)
 未取得(Not Earned)
 未取得(Not Earned)
 未取得(Not Earned)

受講コースの選択 (Course Selection)

過去に修了したコース (Previously Completed Coursework)

過去に受講したコースの履歴の閲覧や修了証の再発行を行うことができます。(View my previously completed modules list and Completion Reports)

クイズに合格することで、コースが「修了」となります。
 また、修了証を発行することができるようになります。
 修了証には修了証番号が記載され、競争的資金等への応募時に必要となる場合もありますので、大切に保管してください。

CITI JAPAN
COMPLETION REPORT

日本大学 基本コース (2015) カリキュラム 修了証

所属機関: 日本大学
 INSTITUTION: Nihon University
 受講者名: 日大 太郎 (ユーザID: sample01)
 (LEARNER) Email: yokoyama.tatsuya@nihon-u.ac.jp

① 01 責任ある研究行為:基盤編: ②
 修了年月日(Passed on) 2015/05/08 (Ref #5093810)

修了証には、
 ①修了年月日
 ②修了証番号
 ③修了した单元名
 が記載されます。

单元名 (REQUIRED MODULES) *单元名に英語表記のあるものは英語教材が提供されている单元です。	完了日 (DATE COMPLETED)
③ 責任ある研究行為ダイジェスト / < Digest Version > Responsible Conduct of Research	2015/05/08

上記のとおり、CITI Japan 教材の履修を修了したことを証明します。

CITI Japan プロジェクト

CITI JAPAN PROGRAM

発行月日(Printed on): 2015/05/11